



「健康診断」と「人間ドック」の違い

健診センター

意外と知らない！？「健康診断」と「人間ドック」の違い

よく、健診を検討されている方から「健康診断と人間ドックは、何が違うのですか？」といった質問を受けます。ほとんどの方は健康診断を受けた事があると思いますが、実際に違いを知っている方は意外と少ないかもしれません。健康診断も人間ドックも、どちらも自身の健康状態を知るために検査をおこなうという目的は同じですが、「法的義務があるかないか」といった決定的な違いがあります。

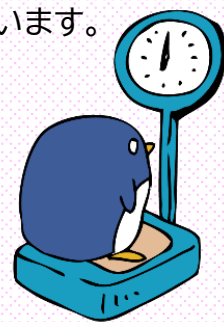


「健康診断」は年齢に応じた一般的な検査

健康診断とは自身の健康状態を診断し、病気の兆候がないかを調べるものです。特に生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常病など)は自覚症状がないことが多く、自分では健康と思っている場合がほとんどです。本当の健康状態を知るために、年に一度、健康診断を受けることを推奨しています。

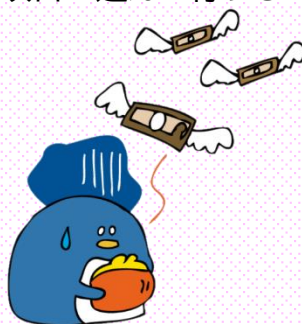
企業に勤められている方は、労働安全衛生法に基づき、年に一度の定期健康診断への受診が義務付けられています。主に「一般健康診断(一般健診、定期健診)」と呼ばれているものです。検査内容は「身体計測」「血液検査」「胸部X線」「尿検査」など基本的なものが中心で、費用は無料か低額です。検査項目が少ないため短時間で終了します。20代～30代の方は、この「一般健康診断(一般健診、定期健診)」を毎年受診している方がほとんどではないでしょうか。生活習慣病の予防・早期発見を目的に40～74歳の人を対象に実施する「特定健康診査(定期健診、生活習慣病健診)」もあります。加入している健康保険ごとに多少の違いはあるものの、基本的に年に一回、自身の健康状態を確認し、生活習慣病の予防や表面化していない病気を見つけるために、年齢に応じて一般的な検査をおこないます。

国民健康保険に加入されている方の場合、一部自治体では健康診断を受診することができるようになってきました。内容は必要最低限の基本的な検査がほとんどで、費用は無料か低額です。40歳以上になると、ほとんどの自治体において特定健康診査が行われています。特定健診、生活習慣病健診などとも呼ばれ、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)のリスクがどれくらいあるのかを調べ、生活習慣病の早期発見や予防に役立ちます。



「人間ドック」は検査項目が多く、病気の早期発見が目的

人間ドックも健康診断の一部と言えますが、法的な義務はなく、個人の意志によって受診するものになり、大きな違いは「検査項目の多さ」になります。一般健診や特定健診の内容に加えて、胃カメラ、腹部超音波などの検査項目が増え、女性特有の病気や脳に特化した検査など医療施設によってさまざまなコースが用意されています。「人間ドックは健康診断だけではわからない病気の早期発見が目的」と覚えておくともいいかもしれません。なお個人の意思で検査項目を選んで行うものなので、基本的に自費になりますが、最近では費用を補助する職場もあります。



「人間ドック」って受けるべき？



健康診断で基本的な自身の健康状態を確認することができるため、これだけ聞くと毎年、健康診断を受けているから大丈夫と思う方がほとんどでしょう。では個人でわざわざ費用負担をして人間ドックを受ける必要性はどこにあるのでしょうか？

必要性の理由は「検査項目の違い」にあります。

健康診断の検査項目は10～15項目ほどになり、所属する企業によってはオプション検査がない場合や、自身が希望する検査項目がない場合もあります。

一方で、人間ドックは検査項目が60～75項目となり、健康診断で行われる検査項目のほかに、肺機能検査、腹部超音波検査、腫瘍マーカー、胃カメラ、マンモグラフィーといった検査があります。さらに希望する検査がある場合は、オプションで追加することも可能です。

検査項目が多いことで、詳細に身体の中を検査することが可能なため、健康診断だけではわからない病気を発見することが可能です。何よりも、自身が気になる箇所をより細かく診ることができるため、不安も解消できます。

人間ドック、自分に合ったコースの選び方

医療施設によって、さまざまな人間ドックのコースが存在し、結局自分がどのコースを受けたいのかがわからないという方も多いのではないのでしょうか。ただ検査項目が多いものを選んだらよいというわけではありません。自身の性別・年齢・ご家族の既往歴・気になる症状や日々の生活習慣などに合わせて選ぶ事をお勧めします。



定期的な検査の習慣化からはじめましょう。

健康診断と人間ドックの違いについて簡単に説明しましたが、自分の身体の状態を知る為にも、定期的な検査はとても重要となります。特に女性の場合、結婚や出産などで退職した人、その他自営や自由業の方の受診率が非常に低いといわれています。

まずは、年に一度の健康診断を受けることを基本に考えるべきですが「健康診断だけでは不十分な可能性がある」ということを覚えていただき、人間ドックも受診いただくことをお勧めします。早期発見により、万が一治療が必要となった場合でも、身体にかかる負荷や経済的な負担を軽減することができます。長く健康を維持するためにも、一度のみではなく継続的なご受診をお勧めいたします。

当院健診センターでは、各種人間ドックコースをご用意しています。ご興味ある方は、ぜひ当院健診センターにお問い合わせください。



鳥取赤十字病院

〒680-8517 鳥取県鳥取市尚徳町117

健診センター 0857-24-8111(代表)

お問い合わせ時間 平日 11:00～16:30

登録医の紹介

橋本外科医院(東中校区)

〈所在地〉鳥取市大杵204-3

【車でお越しの方】JR鳥取駅から車で約7分

【バスでお越しの方】桜谷団地行き市住バス停下車徒歩1分

〈TEL〉0857-29-1281

〈FAX〉0857-23-3449

〈院長〉橋本 篤徳 先生

〈診療科目〉外科・内科・東洋医学(漢方)・リハビリ



〈休診日〉日曜、祝日

本院は、病める臓器のみを診るのではなく、人としての暖かい触れ合いを大切にして、予防医学を含めた包括的な心のある医療をめざしています。外来の他、入院、通所リハビリ施設、高齢者専用住宅を併設しています。CTや内視鏡などの機器による迅速な診断を行うとともに、東洋医学による治療など一人ひとりに合わせたきめ細やかな診療を心掛けています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:00	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	○	○	
14:00～16:00						○

